

自動運転バスに試乗

運転席などに搭載されたカメラが認識して機械によって運転されます。まだ完全ではありませんが技術の更なる進展に期待したいと思います(実際の走行時には運転士さんが補助されます)。



金華山からの日の出

1月3日早朝、今年初めての金華山を登頂。天候を見計らってこの日を選びました。今年も皆さまにとって素晴らしい一年となりますよう祈念しながら日の出を見してきました。



岐阜市中央卸売市場 初競りを激励

1月5日早朝に訪問。岐阜市の食の安全安定を守っていただいていることに感謝し御礼申し上げます。働かれる皆さんの安全と健康を祈りつつ激励訪問させていただきました。



岐阜県電力総連執行委員会にて活動報告

1月13日、加盟組合役員の方々に、日頃のご支援のお礼を述べるとともに至近の議会で発言した内容を中心に報告させていただきました。また、新型コロナウイルス感染拡大を鑑みて様々な活動を自粛しているが、今は感染拡大防止を図ることが第一であり、マスク着用、手洗い・うがいの励行、密を避ける行動をお願いさせていただきます。一日も早く終息させ顔が見える活動を展開したいと存じます。



ぎふ灯り物語

1月30日(土)～2月7日(日)に岐阜公園内で開催されました。和傘や提灯の灯りに加え竹灯籠など見ごたえのあるイベントでした。岐阜の伝統を継承していかなければならない思いを強く感じました。



市内の企業訪問

市内の企業さんを訪問して状況などを伺っています。この日は、縫製の現場で意見交換させていただきました。



最後に・・・
これからも皆さまの代弁者として活動してまいります。たくさんの課題がありますが、一つひとつ丁寧に扱って着実に進めることも大切だと考えています。地域の皆さまとともに「街を守っていく、そして変化もできるように」。生活に関する事項や基盤整備などお気軽にお声がけください。



石原 ひろき プロフィール

- 生年月日 昭和41年9月22日
- 現住所 岐阜県岐阜市正木1256-4
- 略歴 昭和60年 岐阜県立高山高等学校卒業
同年 中部電力株式会社入社 勤続36年
平成31年 岐阜市議会議員選挙出馬一初当選
所属党派: 岐阜市民クラブ
所属委員会: 経済環境委員会



石原ひろきオフィシャルホームページ <https://ishihara-hiroki.jp>

岐阜市議会議員

石原ひろき

活動報告だより



【発行】石原ひろきを育てる会 【発行人】石原 宏基

〒500-8812 岐阜市美江寺町2-5 (中部電力労働組合内) TEL 058-262-7362

vol.4

ご挨拶

新緑の候 ご支援賜っております皆さま方におかれましては、厚く御礼申し上げます。今回の会報では昨年の11月定例会(会期11月26日～12月14日)における質問内容、3月定例会(同3月3日～25日)の概要と近況を中心にご報告させていただきますので、ご一読賜れますと幸いです。

さて、これまで約54年間市民を支えてくれた市庁舎ですが、5月6日(木)に新市庁舎が開庁することから用役を終え、取り壊しの予定となっています。歴史を刻んだ市庁舎に皆さんと共に感謝してお別れしたいと思います。

新市庁舎は今後、市民の皆さんに愛され、且つ災害などから守る施設として活躍が期待されます。是非一度ご覧にお越しくださるよう、ご案内申し上げます。

比較的過ごしやすい季節へと変わってまいります。新型コロナウイルス感染については、引き続き予断を許せない状況下であり、一日も早い終息を願っています。密集、密接、密閉の対策を万全にされますよう、人との接触に十分お気をつけられますよう、加えて交通安全、健康を持続いただき益々のご健勝を祈念申し上げます。



議会活動報告

11月定例会

令和2年岐阜市議会第5回(11月)〈定例会:11月26日～12月14日まで〉

今回、市長から提案された議案は、追加議案を含め、補正予算5件、条例議案5件などの議案19件で、審議の結果、いずれも原案のとおり可決・同意されました。

今期定例会では、令和3年度予算編成方針のほか、新型コロナウイルス感染症対策などについて議論するとともに、20名の議員が本会議で登壇し質疑が交わされました。



石原 が行った 質問内容



Q1 部活動指導員制度（中学校の部活動）について

この制度は昨今、教員の労働時間の多さが問題視されており、2017年度に「教員の働き方改革」の一環として導入された経緯にある。本制度の立ち上げにより、指導員の職務が明確になって教員不在でも練習や遠征に行けるなどのメリットが生まれたが、一方でそれまで教員の労働時間の長さが部活動にあったとも言えることから、部活動の練習時間や休養日の設定などが決められることにもなった。教員の働き方が問題視されている中、部活動はじめ様々な場面で学校外の人材を活用することは、教員の労働時間を捉えた観点からは効果が生み出されていると思うが、教員の労働時間を重視するあまり、生徒が部活動に対するモチベーションを保てなくなり、参加したくなくなるという懸念がある。スポーツや芸術はチームの勝利や自己ベストを目指して活動するからこそやろがいが生まれるものである。練習を通じて、チームワークの醸成や達成感を感じられるからこそ厳しい練習に耐えることができるのではないかと考えるが、今後部活動をどのように展開されようと考えているか伺いたい。



教育長の回答

部活動は多くの生徒の生きがいであり思春期における教育的意義は極めて大きい。中学校部活動の友人や顧問の先生から得た経験が一生の支えになることも多くある。

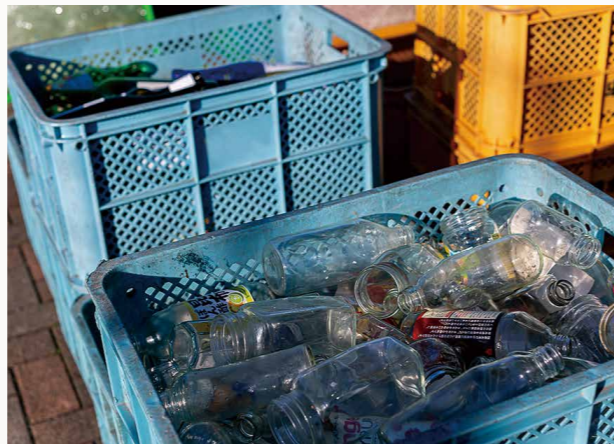
教員にとっての位置付けは教育課程外であるが学校教育であり、勤務時間外にボランティアで行う場合もあり、その上管理責任は重いという整理がなされている。

保護者から学校への要望も多く、生徒にとって意義のある部活動であることを認識しつつも勤務時間外の活動に対して負担を感じている教員が多くいる。そこで教員の働き方改革において部活動に対し、様々な改善策が提言されている。

生徒についてはそれぞれの興味関心に基づいて多様な関わり方ができるような部活動にすることが前提と考える。他方、教員の勤務に関しては、日本の義務教育の強みとして、部活動のように学校が子どもたちの学習だけでなく、生活全般を指導対象とすることによって、道徳性や学力の向上に寄与している一方、その分教員の勤務時間の負担がOECD参加国中最悪の状況にある状態は改善しなくてはならない。部活動にあたっては、指導したい先生は関与ができ、そうでない先生は勤務時間内だけの関わりに留められるように整理することが必要。少子化の中で複数の教員で担当ができるように部活動の数を減らしていくとともに近隣の中学校と協力した合同部活動制度を推奨し教育委員会からも指導助言を行っていく。文部科学省は、学校の働き方改革を踏まえた部活動改革として「令和5年度以降、休日の部活動の段階的な地域移行を図る」と示している。各地域でスポーツや文化に接してきたシニア世代等に部活動指導員や社会人コーチとして参加を促し徐々に学校教育から地域に重心を移していくようにすることが持続可能な部活動の在り方だと考える。

Q2 資源分別回収の在り方について

資源分別回収は本市の場合、自治会連合会が中心となって行っている。市内50の地域でおおむね月1回実施されている。昭和58年に制度化されて以降、約40年に亘って継続されている。この活動は低炭素社会を築いていくうえで欠かすことのできない大切な活動であるが、近年は民間業者が設置する資源回収ステーションが拡大しリアルタイムに排出できる利便性もあり、資源分別回収事業ではその回収量が激減している。心配されることは、昨年度末頃からの中国の廃棄物輸入規制等の影響や新型コロナウイルス感染拡大によって世界中で介在活動が停滞していることから、資源価格が下落していること。民間回収ステーションではこの影響などで古着の受け入れが一時的であったが停止されていた。持続的な回収と言った観点で今後の見通しに不安が生じた事象であったと考える。



地域の活動は約40年に亘って取り組まれているものであり、これまで持続されてきた功績はあまりに大きく今後も安定した活動が求められると考えるが、昨今は市民生活も多様化しており、そうした市民向けに回収スタイルなども変えていかなければならない。

これまで各地域に住まれる多くの市民が主体的に取り組んできた資源分別回収は岐阜市にとって大切な取り組みであり地域財産である。

今後も環境に優しい対策として資源分別回収を持続していけるよう多くの市民が参加でき且つ実施団体が高いモチベーションで取り組めるような仕組みに変えていく必要があると考えるが見解を伺いたい。

環境部長の回答

古紙等の資源価格の下落により他の都市においては回収業者が集団回収から撤退する事例も見受けられ、

このような状況を避けるため

- 回収業者が資源価格の変動に関わらず事業継続できること
- 実施団体の活動意欲を維持できること

を目的として資源分別回収の実施に際し回収業者の車両の使用にかかる費用の一定額を市が負担することとしている。資源価格の低迷が続く中、資源分別回収を持続的に実施していくためには、車両費用負担にとどまらず、更なる回収の効率化、市民の排出行動に対応して環境整備が必要と考えている。そのため集積場所の統合や古紙回収ボックスの増設など資源を出しやすい環境を充実できるよう実施団体に働きかけたい。今後も市民が主体的に取り組む資源分別回収が持続的に実施されるよう更なる「仕組み」を作りあげていきたい。



議会活動 報告 3月 定例会

令和3年岐阜市議会第1回(3月)定例会 3月3日~25日までの23日間

市長から提案された議案は、2021年度一般会計当初予算案1773億3千万円、同補正予算案、はじめ条例制定案など84議案を審議、いずれも原案のとおり可決・同意されました。

また、今期定例会では、予算案に関する質問の他、新型コロナウイルス感染を防ぐ対応、市内企業支援策などについて22名の議員が本会議に登壇して質疑を交わしました(今回は石原登壇していません)。



福祉ホームの 設置について

昨年6月議会で質問した、第6期岐阜市障害福祉計画および第2期障害児福祉計画の策定に関し、私は「福祉ホーム」のニーズを掘り起こしてしっかりと聞き取ってほしいと意見しました。その後、市民の皆さんからも同様の意見をいただき、お陰さまで、計画に反映していただける運びとなりました。

今後も引き続き「誰もが自立してともに暮らせるまち」づくりに取り組んでいきたいと存じます。ありがとうございました。

活動報告

さんさんバスが累計乗車数 10万人達成

10月23日(金)マーサ21で式典が開催されました。平成26年9月に運行を開始してこの度10万人乗車を達成されました。お祝い申し上げますとともにいつも安全に運行していただいていることに対し感謝。

